

FACEBOOK2025 年 9 月 12 日 13:47 投稿の小栗のコメント

◆以下は、『産経新聞』2025 年 9 月 11 日「正論」欄に掲載された浅野和生先生（小栗の先輩）の評論文「語り継ぐべき戦後「平和の記憶」」を紹介した上で、小栗が付したコメント。

◆戦後日本の「平和」は、こちら側が軍備を持たず、戦わなければ、相手は攻撃してこない、という有り得ない空想を前提にしたものでした。それでは日本の平和を守ることはできないのです。広島に高校生が派遣されて、不戦の言葉を述べるのが「平和大使」の仕事と言われて、実行されているけれど、これも上と同じ論理です。戦後の共産党の戦略に乗せられているだけです。日本が丸腰になって喜ぶのは、日本を侵略したいと考えている国です。そういう国に、日本を侵略しやすくするために、日本人を洗脳しておこうという思想戦の道具が、戦後日本の「平和」なのです。浅野先生の表論文をぜひお読みください。